



2020年12月期 第3四半期 決算説明会資料

荏原 (6361)

2020年11月12日

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead > Beyond

株式会社 荏原製作所

目次



決算のポイント	P3	4. トピックス	
1. FY20 1-3Q 連結決算サマリ		・ 新型コロナウイルス感染症の影響	P12
・ 連結業績	P4	・ 現預金及び有利子負債の見通し	P13
・ セグメント別	P5	5. 補足資料	
・ 地域別売上高	P6	・ 受注高	P14
2. FY20 1-3Q セグメント別業績		・ 売上高	P15
・ 風水力	P7	・ 営業利益	P16
・ 環境プラント	P8	・ 受注残高	P17
・ 精密・電子	P9	・ 地域別売上高	P18
3. FY20 業績予想		・ 貸借対照表	P19
・ 連結業績	P10		
・ セグメント別	P11		

✓ 略語の説明

➢ FY：会計年度（例 「FY20」は2020年12月期会計年度）

➢ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している

✓ 本資料で示す「地域別売上高」は売上先所在地別売上高を示している

決算のポイント

FY20 1-3Q 業績

		前年同期比*	
■ 受注高	3,660億円	(-3.6%)	➡
■ 売上高	3,693億円	(+0.8%)	➡
■ 営業利益	222億円	(+9.8%)	⬆

FY20 業績予想

		前期比*	前回予想比
■ 受注高	4,935億円	(-10.6%)	⬇ -125億円
■ 売上高	5,130億円	(-1.8%)	➡ +70億円
■ 営業利益	320億円	(-9.3%)	⬇ +20億円

* ⬆は+5%以上、⬇は-5%以下の変化を、➡は変化が±5%未満であることを表す

FY20 1-3Q 業績

- 受注は精密・電子事業では堅調だが、風水力事業で原油価格変動による石油・ガス市場（ダウンストリーム）の設備投資延期の影響を受け減少
- 営業利益は風水力事業における製品の収益性改善と精密・電子事業の増収効果により増益

FY20 業績予想

- 8月の前回予想から売上高70億円、営業利益20億円の上方修正
- CT事業、冷熱事業の収益性改善等により風水力事業で売上高と営業利益を上方修正
- 環境プラント事業において大型案件の発注時期延期により受注高を下方修正

1. FY20 1-3Q 連結決算サマリ			
連結業績			
	FY19 1-3Q	FY20 1-3Q	増減
(単位：億円)	実績	実績	
受注高	3,798	3,660	-137
売上高	3,664	3,693	+29
営業利益	202	222	+19
売上高営業利益率	5.5%	6.0%	+0.5pts
経常利益	200	205	+5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	118	123	+4
為替レート(対USD)	JPY 107.92	JPY 105.80	

4 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

1. FY20 1-3Q 連結業績サマリ：

受注高：3,660億円（前年同期増減-137億円）

売上高：3,693億円（同+29億円）

営業利益：222億円（同+19億円）、営業利益率：6.0%

親会社株主に帰属する四半期純利益：123億円（同+4億円）

為替レート（対米ドル）：105円80銭

1. FY20 1-3Q 連結決算サマリ セグメント別		EBARA		
(単位：億円)		FY19 1-3Q 実績	FY20 1-3Q 実績	増減
連結合計	受注高	3,798	3,660	-137
	売上高	3,664	3,693	+29
	営業利益	202	222	+19
	売上高営業利益率	5.5%	6.0%	+0.5pts
風水力	受注高	2,372	2,217	-155
	売上高	2,280	2,208	-72
	営業利益	83	113	+29
	売上高営業利益率	3.7%	5.1%	+1.4pts
環境プラント	受注高	521	479	-41
	売上高	484	440	-44
	営業利益	55	40	-14
	売上高営業利益率	11.4%	9.2%	-2.2pts
精密・電子	受注高	892	952	+69
	売上高	887	1,033	+146
	営業利益	62	74	+12
	売上高営業利益率	7.1%	7.2%	+0.1pts
その他、調整	受注高	11	11	-0
	売上高	11	11	-0
	営業利益	1	-5	-7
	売上高営業利益率	10.4%	-53.0%	-63.4pts

5 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

1. FY20 1-3Q 連結業績サマリ セグメント別：

<受注高>

- 半導体設備投資が底堅く推移したことから精密・電子事業で順調に推移したが、コロナによる需要の回復遅れや原油価格下落の影響を受けた風水力事業で減少

<売上高>

- 高い受注水準から精密・電子事業の売上が伸長したが、風水力事業、環境プラント事業で減少し、全体では横ばい

<営業利益>

- 風水力事業での製品の採算性改善や固定費減少、精密・電子事業による増収効果で全体としては増益

1. FY20 1-3Q 連結決算サマリ 地域別売上高



(単位：億円)	FY19 1-3Q		FY20 1-3Q		増減
	実績	構成比	実績	構成比	
連結合計	3,664	100.0%	3,693	100.0%	+29
日本	1,709	46.7%	1,646	44.6%	-63
海外	1,954	53.3%	2,046	55.4%	+92
中国	543	14.8%	560	15.2%	+16
アジア（中国除く）	557	15.2%	721	19.5%	+163
北米	408	11.2%	326	8.8%	-82
欧州	192	5.3%	245	6.6%	+52
中東	163	4.5%	124	3.4%	-38
その他	88	2.4%	68	1.9%	-20

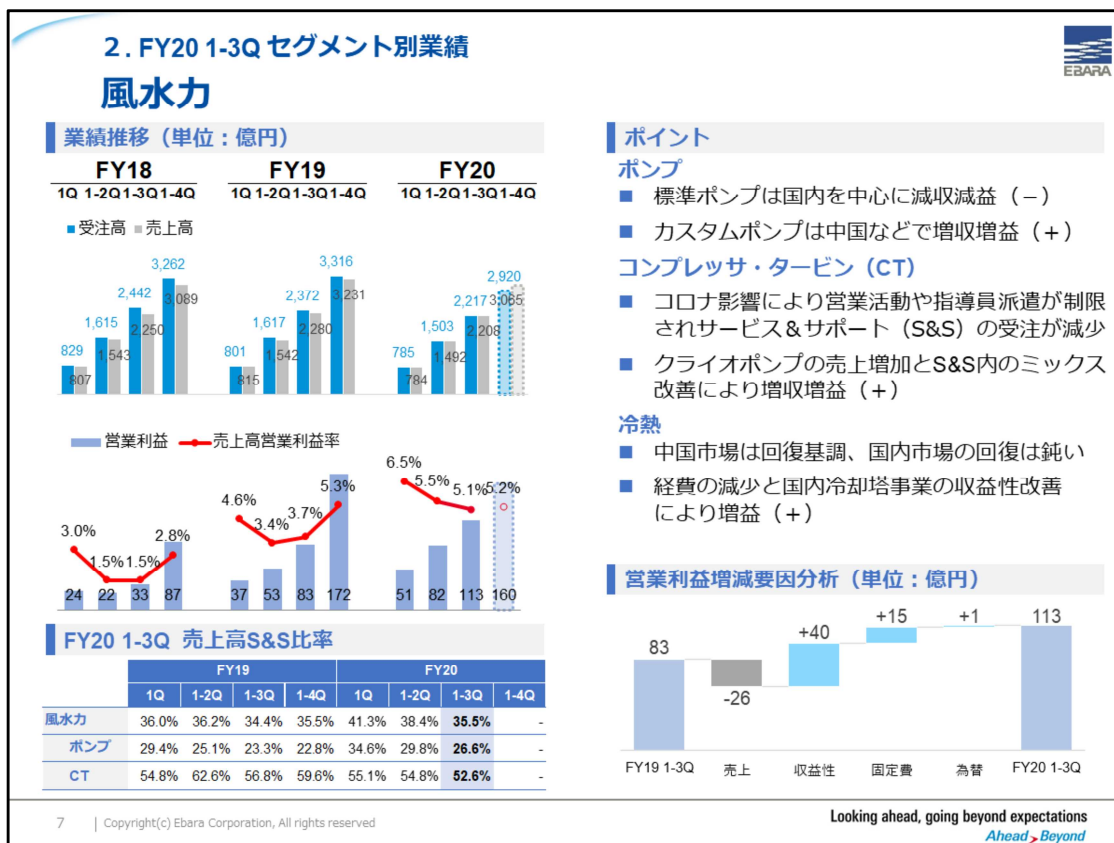
1. FY20 1-3Q 連結業績サマリ 地域別売上高：

■ アジア（中国除く）：前年同期増減+163億円

➤ 主に精密・電子事業が牽引

■ 中国：同+16億円

➤ 経済活動制約解除により建築関連や石化プロジェクト案件で工事再開の動きがみられ、風水力事業で回復基調



2. FY20 1-3Q セグメント別業績 風水力 :

受注高 : 2,217億円 (前年同期増減-155億円)

売上高 : 2,208億円 (同-72億円)

営業利益 : 113億円 (同+29億円)

■ ポンプ事業 : 減収減益

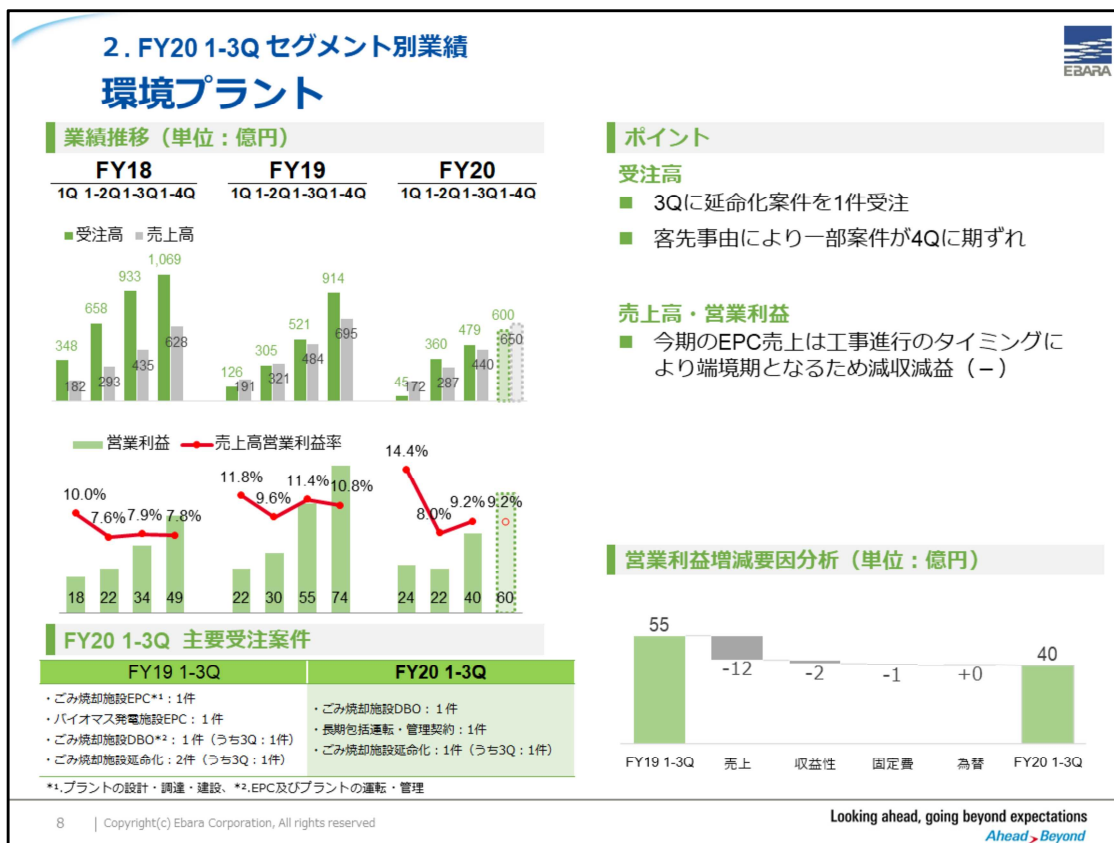
- 上期にコロナ影響を受けた建築設備市場の需要回復遅れによって、主に国内標準ポンプ事業の売上・営業利益が減少
- カスタムポンプ事業では、中国での売上増加や選択受注による採算の改善、サービス&サポートの売上増により増益となったが、ポンプ事業全体では減収減益

■ コンプレッサ・タービン事業 : 増収増益

- コロナ影響による営業活動や移動制限のため米国でのサービス&サポートによる受注が減少
- 製品の収益性改善やクライオポンプの増収、サービス&サポート内での利益率の高い部品販売増加により増益

■ 冷熱事業 : 減収増益

- 国内市場で、冷却塔事業における収益性改善や経費減少によって増益



2. FY20 1-3Q セグメント別業績 環境プラント:

受注高: 479億円 (前年同期増減-41億円)

売上高: 440億円 (同-44億円)

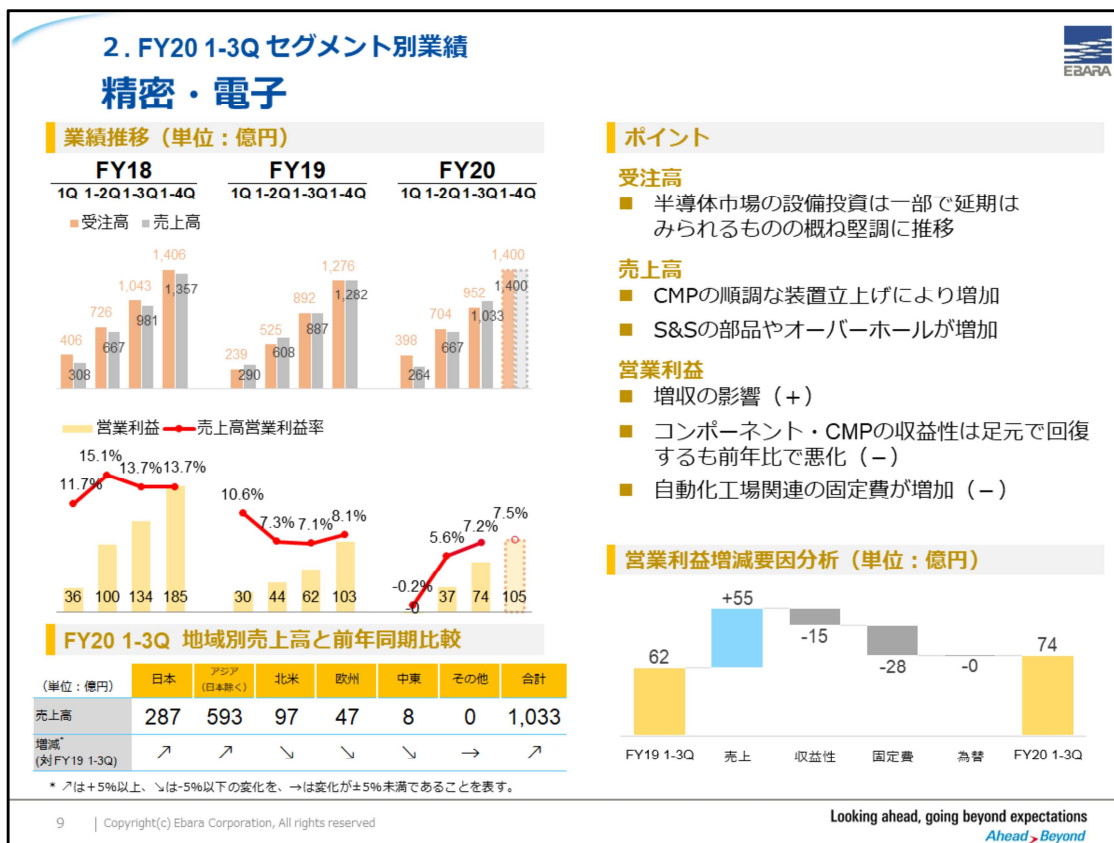
営業利益: 40億円 (同-14億円)

<受注高>

- 上期までにごみ焼却施設のDBO案件、長期包括運転・管理契約をそれぞれ1件ずつ受注
- 3Qに延命化案件を1件受注

<売上高・営業利益>

- EPCの工事進行売上案件が進捗の端境期にあることなどにより減収減益



2. FY20 1-3Q セグメント別業績 精密・電子 :

受注高 : 952億円 (前年同期増減+59億円)

売上高 : 1,033億円 (同+146億円)

営業利益 : 74億円 (同+12億円)

<受注高>

- 米中貿易問題など地政学リスクもあり半導体市場における設備投資は一部で計画に遅れもみられたが、引き続きIoTやテレワーク普及など半導体需要は堅調

<売上高>

- CMPの順調な装置立上げや部品、オーバーホールなどのアフター需要増加など日本やアジアを所在地とする顧客向けの売上が伸長
- 9か月累計期間で見ると売上高1,033億円は過去最高水準

<営業利益>

- 増収の影響
- CMP・コンポーネントともに案件ミックスにより収益性が低下
- コンポーネント事業でドライ真空ポンプの自動化工場関連固定費の増加や、キャリア採用など人件費が増加

3. FY20 業績予想 連結業績



(単位：億円)

発表日(年/月/日)	FY19 1-4Q 実績 a	FY20 1-4Q 計画 b' 20/08/11	FY20 1-4Q 計画 b 20/11/12	増減 b-a	増減 b-b'
受注高	5,522	5,060	4,935	-587	-125
売上高	5,224	5,060	5,130	-94	+70
営業利益	352	300	320	-32	+20
売上高営業利益率	6.8%	5.9%	6.2%	-0.6pts	+0.3pts
経常利益	355	270	295	-60	+25
親会社株主に帰属する 当期純利益	233	170	185	-48	+15
ROIC	6.5%	4.6%	5.0%	-1.5pts	+0.4pts
1株当たり配当金	60円	60円	60円	-	-
中間配当金	30円	30円	30円	-	-
期末配当金	30円	30円	30円	-	-

3. FY20 業績予想 連結業績：

<市況見通し>

- 足元で欧米を中心とした感染再拡大や、一部のアジア地域で移動制限の延長など引き続きコロナ影響は不透明な状況が続いており、地域や市場においてもその影響は斑模様
- 中国では半導体の国産化に向けた投資拡大や政府のインフラ投資に対する支援もあり需要の回復ペースは想定より早くなる可能性もあるが、米中半導体規制強化の動向には引き続き注視が必要

<業績予想>

8月発表業績予想を修正

- 受注高：4,935億円（前回予想比-125億円）
- 売上高：5,130億円（同+70億円）
- 営業利益：320億円（同+20億円）
- 為替レート：1米ドル 105円、1ユーロ 120円（前回予想から変更なし）
- 1株当たりの年間配当金予想：60円（前回予想から変更なし）

3. FY20 業績予想 セグメント別



(単位：億円)

発表日(年/月/日)	FY19 1-4Q 実績 a	FY20 1-4Q 計画 b' 20/08/11	FY20 1-4Q 計画 b 20/11/12	増減 b-a	増減 b-b'	
連結合計	受注高	5,522	5,060	4,935	-587	-125
	売上高	5,224	5,060	5,130	-94	+70
	営業利益	352	300	320	-32	+20
	売上高営業利益率	6.8%	5.9%	6.2%	-0.6pts	+0.3pts
風水力	受注高	3,316	2,920	2,920	-396	-
	売上高	3,231	3,000	3,065	-166	+65
	営業利益	172	140	160	-12	+20
	売上高営業利益率	5.3%	4.7%	5.2%	-0.1pts	+0.5pts
環境プラント	受注高	914	730	600	-314	-130
	売上高	695	650	650	-45	-
	営業利益	74	60	60	-14	-
	売上高営業利益率	10.8%	9.2%	9.2%	-1.6pts	-
精密・電子	受注高	1,276	1,400	1,400	+123	-
	売上高	1,282	1,400	1,400	+117	-
	営業利益	103	105	105	+1	-
	売上高営業利益率	8.1%	7.5%	7.5%	-0.6pts	-
その他,調整	受注高	15	10	15	-0	+5
	売上高	15	10	15	-0	+5
	営業利益	1	-5	-5	-6	-
	売上高営業利益率	10.9%	-50.0%	-33.3%	-44.2pts	+16.7pts

3. FY20 業績予想 セグメント別：

■ 風水力事業：売上高+65億円、営業利益+20億円（前回予想比）

- コンプレッサ・タービン事業における工事進行売上が想定よりも順調に進捗したことやクライオポンプの売上増加
- ポンプ、コンプレッサ・タービン、冷熱事業それぞれで収益性改善が順調に進捗

■ 環境プラント事業：受注高-130億円（前回予想比）

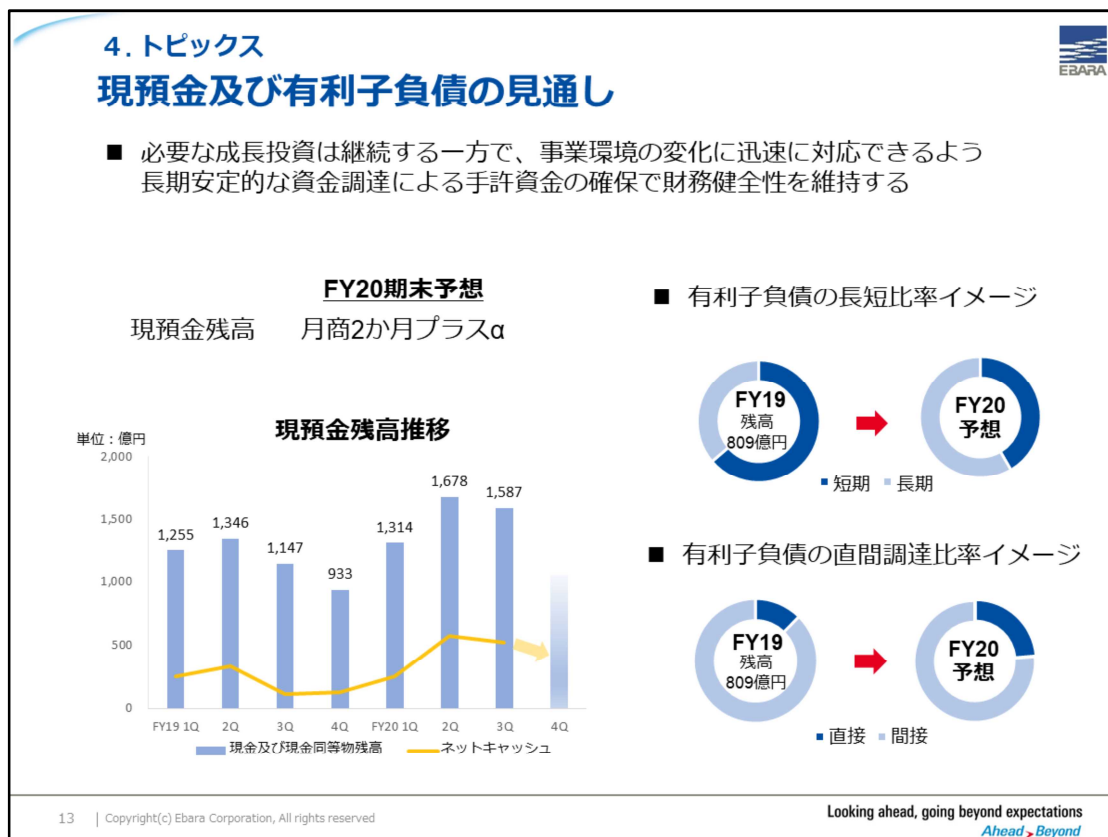
- 顧客側の事由により大型案件が来期へ延期

通期売上への影響見込み※		主な市場	3-4Qの状況・見通し	
			市場環境	当社への影響
ポンプ	大	建築設備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各国のGDP成長率見通しは緩やかに回復 ■ 建設工事中断や着工遅延の状況は地域により異なる ■ 予算執行先送りや予算凍結 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本で受注・売上が減少 ■ 中国、欧州の一部では受注・売上が回復傾向 ■ 東南アジアの需要回復は遅れており受注・売上が減少
		石油・ガス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国以外の地域で、新設・S&S案件の発注遅延、工事延期 ■ 人の移動制限や隔離の解除は一部のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 選別受注もあり受注・売上が減少 ■ 営業活動や指導員派遣に制限
CT	小			
冷熱	小	建築設備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本で更新・整備計画の延期や凍結 ■ 中国は回復傾向だが、受注競争が激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本でS&Sの受注・売上が減少 ■ 中国では売上が増加
環境プラント	-	ごみ処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ■ 影響なし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 影響なし
精密・電子	中	半導体	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一部で設備投資の進捗遅延 ■ 人の移動制限は一部で緩和 ■ 稼働停止リスク低減のための安全在庫増加施策は一部で継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナの影響はあるが市況により受注は好調 ■ 装置立上げエンジニアの不足は一時期よりは改善 ■ オーバーホールや部品販売などの受注・売上が増加

※ 大：-100億円以上、中：-50～-100億円未満、小：-50億円未満

4. トピックス 新型コロナウイルス感染症の影響：

- 建築設備市場や石油・ガス市場を対面市場とするポンプ事業で影響大
- 足元では各国の経済活動制約リスクもありながら建築設備市場などでは需要回復に向かってはいるが、地域差などもあり上期需要減少のリカバリーまでは困難
- 精密・電子事業では顧客工場での稼働率が高まる中で装置立上げやアフターメンテナンスなどは海外現地法人との連携により対応



4. トピックス 現預金及び有利子負債の見通し：

<手元現預金の期末見通し>

- 今期末はコロナ禍の先行き不透明な状況等を勘案した安全サイドの手元現預金水準を維持予定

<有利子負債構成の期末見通し>

- 調達コストなど変動リスクの高い短期の有利子負債構成を減らし、財務リスクを低減
- 成長投資に向けた必要資金を普通社債で賄うなど年限の長期化だけでなく、直間比率を考慮した資金調達手段の最適化
- 世界各国でのコロナ感染拡大の余波が残る中では財務健全性を重視

5. 補足資料

受注高



(単位：億円)

発表日(年/月/日)	FY19 実績 a	1-3Q		FY19 実績 c	FY20 計画 d' 20/08/11	1-4Q		増減 d-c	増減 d-d'
		FY20 実績 b	増減 b-a			FY20 計画 d 20/11/12	増減 d-d'		
連結合計	3,798	3,660	-137	5,522	5,060	4,935	-587	-125	
風水力	2,372	2,217	-155	3,316	2,920	2,920	-396	-	
ポンプ	1,286	1,240	-45	1,763	1,640	1,640	-123	-	
CT	675	602	-73	1,020	830	830	-190	-	
冷熱	301	257	-43	381	320	320	-61	-	
その他	109	116	+6	151	130	130	-21	-	
環境プラント	521	479	-41	914	730	600	-314	-130	
精密・電子	892	952	+59	1,276	1,400	1,400	+123	-	
コンポーネント	394	457	+63	535	590	590	+54	-	
CMP	455	451	-4	677	755	755	+77	-	
その他	42	43	+0	63	55	55	-8	-	
その他	11	11	-0	15	10	15	-0	+5	

5. 補足資料

売上高



(単位：億円)

発表日(年/月/日)	FY19 実績 a	1-3Q	増減 b-a	FY19 実績 c	FY20 計画 d' 20/08/11	1-4Q	増減 d-c	増減 d-d'
		FY20 実績 b				FY20 計画 d 20/11/12		
連結合計	3,664	3,693	+29	5,224	5,060	5,130	-94	+70
風水力	2,280	2,208	-72	3,231	3,000	3,065	-166	+65
ポンプ	1,267	1,205	-62	1,749	1,670	1,670	-79	-
CT	640	659	+19	952	890	950	-2	+60
冷熱	266	247	-18	377	320	320	-57	-
その他	106	96	-10	152	120	125	-27	+5
環境プラント	484	440	-44	695	650	650	-45	-
精密・電子	887	1,033	+146	1,282	1,400	1,400	+117	-
コンポーネント	433	431	-2	589	575	575	-14	-
CMP	399	560	+160	626	775	775	+148	-
その他	53	41	-12	66	50	50	-16	-
その他	11	11	-0	15	10	15	-0	+5

5. 補足資料 営業利益



(単位：億円)

発表日(年/月/日)	FY19 実績 a	1-3Q		FY19 実績 c	FY20 計画 d' 20/08/11	1-4Q		増減 d-c	増減 d-d'
		FY20 実績 b	増減 b-a			FY20 計画 d 20/11/12	増減 d-d'		
連結合計	202	222	+19	352	300	320	-32	+20	
風水力	83	113	+29	172	140	160	-12	+20	
ポンプ	73	69	-4	110	85	90	-20	+5	
CT	9	30	+20	48	42	50	+1	+8	
冷熱	8	13	+5	18	11	15	-3	+4	
その他	-8	0	+8	-4	2	5	+9	+3	
環境プラント	55	40	-14	74	60	60	-14	-	
精密・電子	62	74	+12	103	105	105	+1	-	
その他、調整	1	-5	-7	1	-5	-5	-6	-	

5. 補足資料 受注残高



(単位：億円)

発表日(年/月/日)	FY19 実績 a	1-3Q		FY19 実績 c	FY20 計画 d' 20/08/11	1-4Q		増減 d-c	増減 d-d'
		FY20 実績 b	増減 b-a			FY20 計画 d 20/11/12	増減 d-d'		
連結合計	4,683	4,786	+102	4,874	4,874	4,679	-195	-195	
風水力	2,152	2,103	-49	2,167	2,087	2,022	-145	-65	
ポンプ	976	976	-0	980	950	950	-30	-	
CT	893	849	-44	933	873	813	-120	-60	
冷熱	196	176	-19	168	168	168	-	-	
その他	86	101	+14	83	93	88	+5	-5	
環境プラント	2,176	2,361	+185	2,361	2,441	2,311	-50	-130	
精密・電子	354	320	-33	345	345	345	-	-	
その他	0	0	+0	0	0	0	-	-	

5. 補足資料 地域別売上高



(単位：億円)

	1-3Q		増減
	FY19 実績	FY20 実績	
風水力	2,280	2,208	-72
日本	1,004	932	-72
アジア（日本除く）	633	665	+31
北米	270	229	-41
欧州	141	197	+55
中東	141	116	-25
その他	88	68	-20
環境プラント	484	440	-44
日本	464	416	-48
アジア（日本除く）	20	23	+3
精密・電子	887	1,033	+146
日本	238	287	+48
アジア（日本除く）	440	593	+152
北米	135	97	-38
欧州	50	47	-2
中東	21	8	-13
その他	0	0	-0

5. 補足資料 貸借対照表



(単位：億円)

	FY19 3Q 実績 a	FY19 4Q 実績 b	FY20 3Q 実績 c	増減 c-a	増減 c-b
資産合計	5,788	5,952	6,244	+456	+292
流動資産	4,132	4,219	4,459	+326	+240
現預金、有価証券	1,163	951	1,616	+452	+665
売上債権	1,640	1,921	1,646	+6	-275
棚卸資産	1,216	1,211	1,036	-179	-174
その他流動資産	112	135	160	+47	+24
固定資産	1,655	1,733	1,785	+129	+51
負債合計	3,030	3,034	3,328	+297	+294
仕入債務	1,024	1,204	1,161	+136	-43
有利子負債	1,034	809	1,065	+30	+255
その他負債	970	1,019	1,101	+130	+81
純資産合計	2,757	2,918	2,916	+158	-1
自己資本	2,682	2,836	2,836	+154	+0
その他純資産	75	81	79	+4	-1
自己資本比率	46.3%	47.7%	45.4%	-0.9pts	-2.3pts
D/Eレシオ	0.39	0.29	0.38	-0.01	+0.09

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。